

こども 市議会だより

岩手県

41号
平成28年
11月15日

- 定例会の概要と決算の概要 2ページ
- 決算特別委員会 5ページ
- 主な議案の内容 9ページ
- 主な質疑応答 11ページ
- 討論 13ページ
- 審議結果、賛否の公表 14ページ
- 一般質問 15ページ
- 活動報告 20ページ

二戸市出身の下川祐造選手（右）。チーム岩手・成年男子の要として、果敢に攻めた試合を展開しました（いわて国体剣道競技）

平成27年度決算

一般会計・特別会計9件全て認定

実質収支は8億4717万6千円の黒字

9月定例会は、8月29日から9月20日までの23日間開かれました。

市長より提出された平成27年度決算認定9件と、条例案や平成28年度補正予算案等の議案15件を審議し、全て原案のとおり可決しました。また、議員提出の意見書案等については、3件のうち2件を可決しました。

各会計の平成27年度決算認定の審査にあたっては、決算特別委員会と3つの分科会を設置。条例案や補正予算案等については、本会議と3つの常任委員会において、詳細にわたり審査を行いました。

一般質問は5人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について、市の考えを質しました。

決算の概要

平成27年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出を総括すると、歳入決算総額は、前年度に比べ0.43%増の241億483万円、歳出決算総額は同0.56%増の232億3801万5千円となっています。

単純に歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は8億6681万5千円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源1963万9千円を差し引いた実質収支は8億4717万6千円の黒字となっています。また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1億3604万6千円の黒字となっており、実質単年度収支も4億8114万4千円の黒字となっています。

●決算の状況は？

区 分		歳 入	歳 出	差引額	
一 般 会 計		177億5,175万円	169億2,604万円	8億2,571万円	
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	40億5,133万円	40億3,782万円	1,351万円
		診療施設勘定	2億4,532万円	2億4,495万円	37万円
	下 水 道 事 業		7億4,017万円	7億2,423万円	1,594万円
	生活排水処理事業		5,769万円	5,738万円	31万円
	簡易水道事業		9,135万円	8,809万円	326万円
	土地区画整理事業		8億8,817万円	8億8,058万円	759万円
	介護サービス事業		195万円	191万円	4万円
	後期高齢者医療		2億7,710万円	2億7,702万円	8万円
計		241億483万円	232億3,802万円	8億6,681万円	

区 分		収 入	支 出	差引額
水道事業会計	収益的収支	7億2,658万円	6億6,304万円	6,354万円
	資本的収支	6,730万円	3億9,891万円	-3億3,161万円

●二戸市の財政状況は？

⇒各財政指標には、改善が見られます。

財政力指数	0.35	前年度より0.01ポイント増↑	数値が大きいほど、財源に余裕がある。
経常収支比率	88.9%	前年度より1.0ポイント減↓	一般財源に対する経常的経費が占める割合。
実質公債費比率	11.2%	前年度より1.1ポイント減↓	収入に対する負債返済の割合。3年間の平均値を使用。
将来負担比率	52.6%	前年度より8.0ポイント減↓	財政規模に対する抱えている負債の割合。

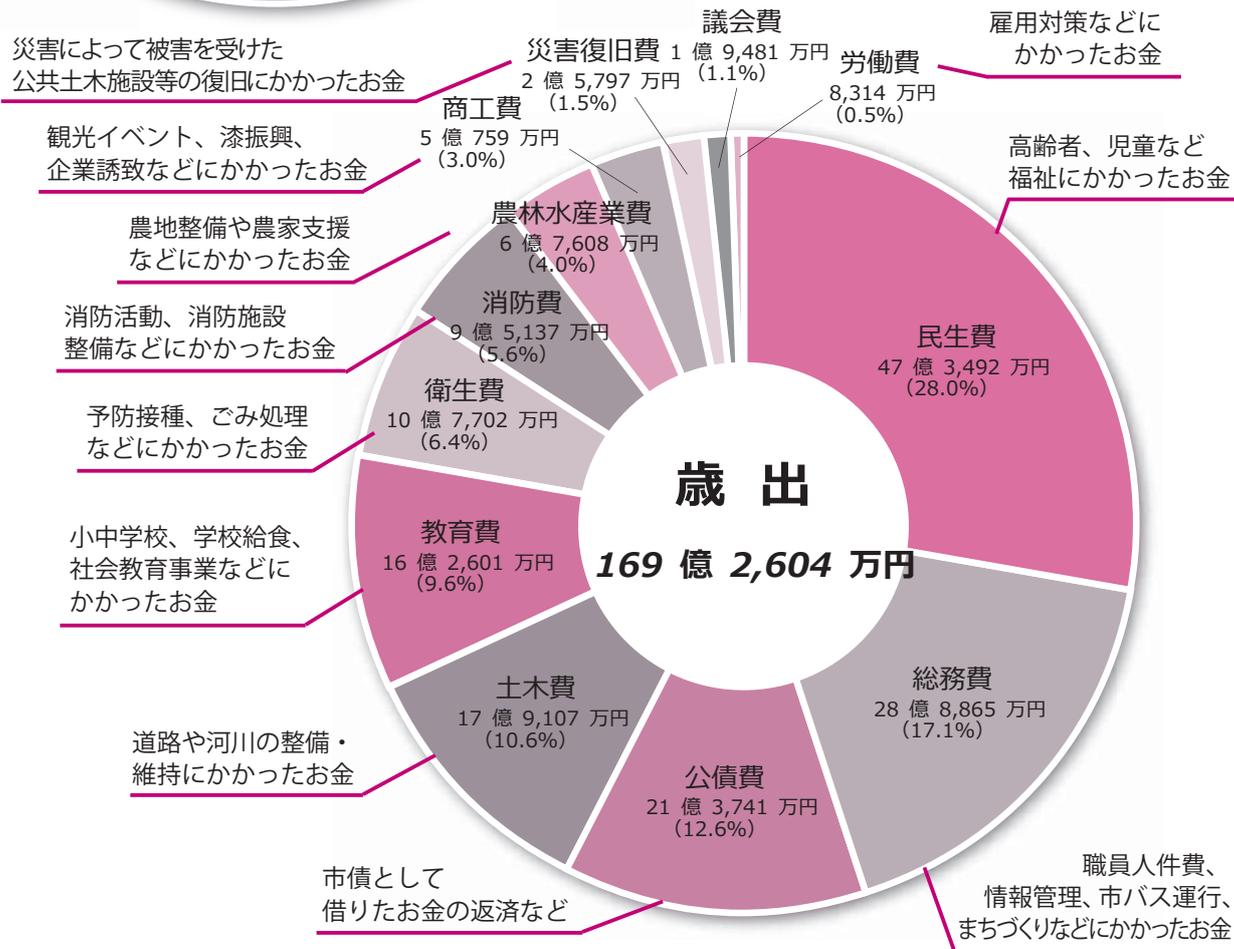
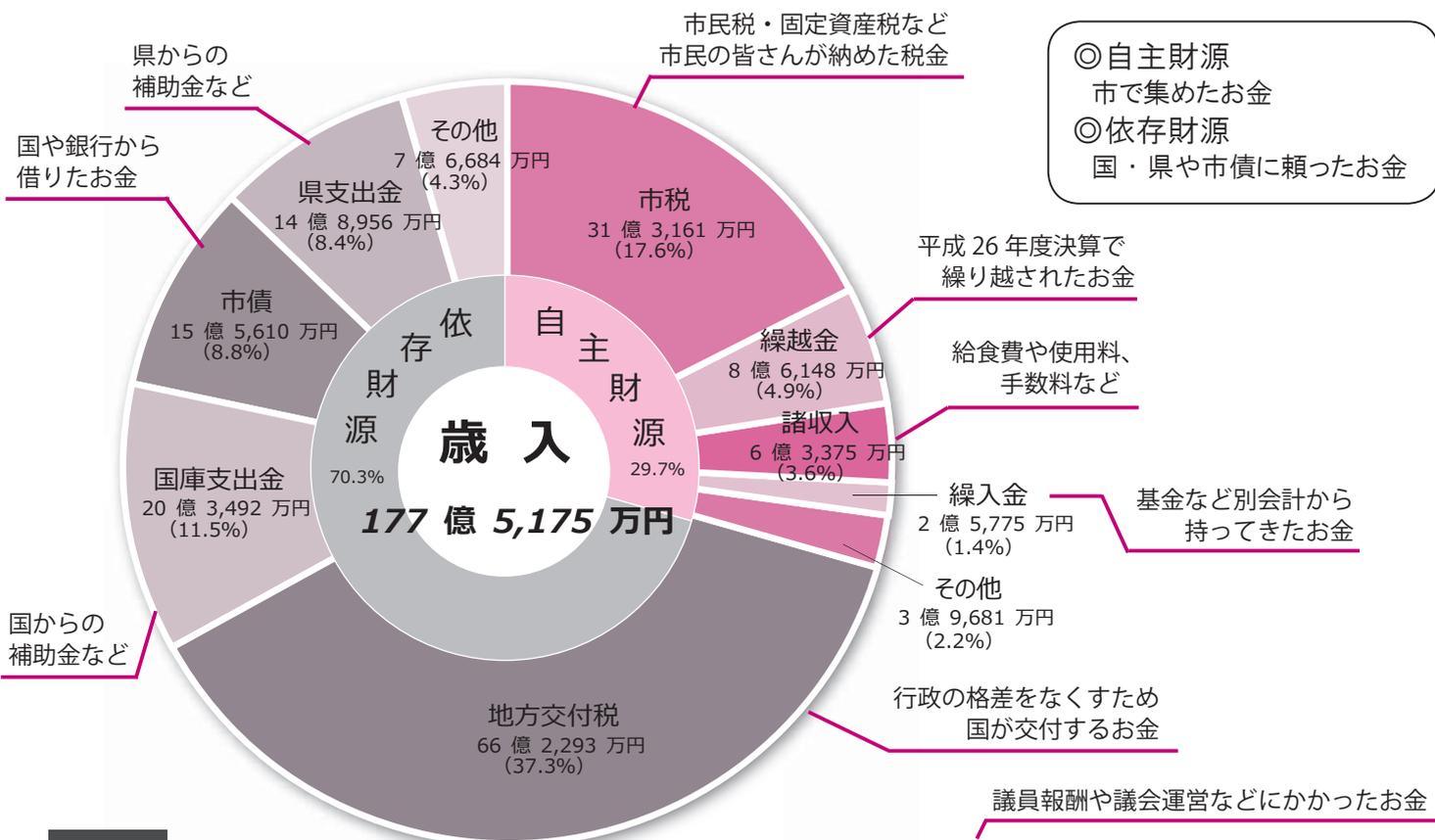
●借金はいくらあるの？

⇒二戸市の借金（市債残高）は、255億8,769万円。

前年度より7億9,039万円（3.0%）減少しました。市民1人あたりにすると、およそ91万円。

※平成28年3月末現在の人口（28,174人）で算定

決算の概要



一般会計歳出決算額は、169億2,604万円
(前年度より2億6,057万円の減)

平成27年度一般会計
決算内訳

平成 27 年度の主な事業

～こんな事業に使われました～

本庁舎非常用発電設備設置工事 6,192万円

災害時等に市役所機能が維持できるように、市役所に非常用自家発電設備を設置



荒瀬上田面線街路整備事業（岩谷橋工区） 1億7,648万円

県からの委託を受け、移転対象物件に対する補償費と用地買収にかかる用地費を支出



にのへブランド海外発信事業 1,395万円

アメリカ・ニューヨークで、浄法寺漆や日本酒など市の特産品のPRを行い、「にのへブランド」を発信



二戸消防署建設等整備事業 3億44万円

二戸地区広域行政事務組合に対し、二戸消防署の移転・新築に係る経費を負担

太陽光エネルギー LED 照明灯整備事業 2億3,868万円

防災拠点施設や小中学校、公共施設など 22 施設に太陽光発電 LED 街路灯を設置



読書活動推進事業 1,006万円

市内全小中学生への図書の贈呈（1人2冊）や、学校図書館への図書の配置を実施



市議会議員選挙費 3,935万円

市議会議員選挙にかかる費用。投票率向上のため、新たな投票所の設置（ニコア内）や啓発活動も実施



福岡中学校建設事業 1億7,740万円

平成 24 年度に着手した事業の最終年度として、グラウンド整備等を実施

子育て支援センター整備事業 7,591万円

児童クラブをはじめ、子育て支援事業を複合的に実施する子育て支援の拠点施設として整備（2施設）



いわて国体開催事業 3,659万円

二戸市実行委員会等へ運営費を補助し、剣道競技リハーサル大会や冬季国体ショートトラック競技等の開催を支援



農業農村直接支払事業 1億2,539万円

農業・農村の多面的機能の維持等のため、それを支える地域活動や農業生産活動の継続、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援



総合スポーツセンター改修事業 9,596万円

いわて国体剣道競技開催に向け、総合スポーツセンターの床や内壁等を改修

決算特別委員会



9月5日の本会議において、議会選出監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会が設置され、委員長に及川正信委員が、副委員長に畠中泰子委員が選出されました。

9月6日から7日は、平成27年度の各会計歳入歳出決算を質疑のうえ、所管の分科会へ審査を付託。8日から12日にかけては分科会が開かれ、付託された案件を詳細にわたり審議し、15日の決算特別委員会で審査報告を行いました。

各分科会の報告を受け採決した結果、一般会計と7特別会計、水道事業会計の計9会計全ての決算を認定すべきものと決しました。

主な質疑応答

一般会計決算

決算の総括について

【問】 27年度決算をどのように評価しているか。

【答】 後期基本計画の仕上げであり、これからの計画づくりの年であった。浄法寺バイパス役場線や消防署、福岡中学校等、前市長から引き継いだ各事業を完成させることができた。財政の努力により、合併以来初めて大きく基金等の積み上げができ、減債基金も多くなった。国の事業等も取り入れた成果とと思っている。

力をしてきたか。

【答】 中期財政フレームを組み、5年間の中で最終的にプライマリーバランスを保つような仕組みをとった。

という指摘もある。表示や分類の仕方などを検討したい。

学校施設の環境について

【問】 金田一中学校のグラウンドの照明が暗いという訴えがあった。教育委員会には子どもたちに同じような教育環境を保障する責任があると思うが、どう考えているか。

【答】 スポーツ少年団活動での使用があるようだが、学校管理外の活動となる。部活動は6時半ごろには終了するため、学校としても特に要望しないとのこと。教育の環境は、授業のレベルなどトータルで見れば差があるとは思っていない。どの学校でも、それぞれの置かれた環境で一生懸命児童生徒も頑張っていることを認識いただきたい。

【問】 来年度の国の動きをどう捉えているか。

【答】 まだ見えていないが、国の制度が変わっていく中で、二戸の総合計画にとって何が必要で何が不要で何が必要でないか、事業を選択しながら取り入れていきたい。

市のホームページについて

【問】 どのような検討で現在の形になったのか。

【答】 25年度にリニューアルし今の形で運用している。27年度は情報の更新頻度を早めることに重点を置いた。外に向けた情報と緊急性の高い情報と同じページにあり見にくい

どのような運営勢

【問】 どのような運営勢

を維持しているか。

総務分科会

一般会計決算

議事録の反訳について

【問】 音声変換による議事録作成の導入見通しは。

【答】 常任委員会へのマイク設備と音声認識機器の導入については早期に取り組みたいが、議会改革の中の議論として常任委員会の進め方も含めながら検討することになる。

税外収入未収入の対応について

【問】 10年以上などの長期のものの処理方法は。

【答】 分納誓約を頂いた場合や分納で納めている場合には、納付の意思があるとみなし不納欠損までの事務処理を行っていることから長期のものが残っている。

る。基本的な方針は、放棄できるものについては内部の手続きを経て放棄することになる。徴収できないものについては一定の判断基準により執行停止、徴収停止という手続きを行う。

サイバー攻撃への対策について

が送られた件数は、今年8月から9月6日までで2748件である。現段階ではファイアウォールや迷惑メール対策機器により最善を尽くしている。今後は内部情報系とインターネット系の完全分離を行うことにより対策はさらに強化される。



件数と対応策は。

【答】 悪意のある添付ファイルを含むメール

財産管理について

【問】 不要な市有財産の整理の方向性は。

【答】 昨年度、公共施設等総合管理計画を策定した。今後は長寿命化と統廃合について、個々の施設の検討を行う。将来的な維持管理、経費等を考慮し、方向性が明らかになるものから順次総合計画に反映させる。

有害鳥獣捕獲費について

【問】 クマによる被害の防止策は。

【答】 ツキノワグマについては野生保護の観点から全てを駆除することとはできない。被害があったものについては、現地調査を行い、保健所と協議し、許可を得て罠をかけ捕獲を行っている。今後とも広報や防災無線、リーフレット等で人身被害の防止

について注意喚起を継続する。



税の納付方法の拡大について

【問】 徴収率が改善した要因は。

【答】 現年分で97・98%であり、1・00ポイント増加した。滞納繰越分については31・39%で、11・30ポイント増となった。県の滞納整理機構との連携による取り組みの成果が現れた。夜間休日窓口の開設を継続するなど総合的に取り組んだ結果であり、今後も徴収率の改善が維持できるよう努める。

税納付の多様な方法とは。

【答】 納付方法の拡大について、コンビニ納付や郵便局窓口納付、ペイジー（パソコンやスマートフォン・携帯電話、ATMから支払うことができるサービス）などを取り入れることの可能性を検討する。

交通安全施設費について

【問】 カーブミラー・ガードレールの設置・更新の優先順位は。

【答】 交通安全施設等点検会議の中で要望を取りまとめ、予算の範囲内で危険度の順位を決めて実施している。

文教福祉分科会

一般会計決算

権利擁護推進事業

【問】事業の実績は。

【答】相談件数は137件。相談者が延べ84人で、うち高齢者が56人、知的障がい者が13人、精神障がい者が10人、その他5人となっている。



子育て支援事業

【問】子育て支援センターの利用状況は。

【答】病後児保育については今のところ利用が無い。親子広場については、当初10組程度の想定で取り組んだが、12月から3月の間で2466人、月平均616人と、予想以上の利用があった。今年度に入っても、多い時期で月に700人の利用があった。

児童館費について

【問】児童館の入所者数の実績と見直しは。

【答】平成27年度は、仁左平児童館は10人、金田一児童館は7人、トータルで17人の入所があった。今年度については、4月当初は、仁左平児童館は7人、金田一児童館は3人となっている。今後、人数があまりにも少なくなることが

食育推進事業

【問】今後の課題は。

【答】食育はさまざまに分野に関わりがあり、庁内の関係課や食に関する関係団体とも連携が重要となってくるが、子どもを持った親世代の関心が高まっていないなど、全体を巻き込んだ活動に結びつけることがまだ出来ていないと考えている。

ら、閉館の方向で検討を進めている。保護者の意見を踏まえ、児童館運営委員会や地域への説明等を議会終了後から10月にかけて行い、市の方向性を検討しながら、12月定例会に廃止のための関係条例等を上程したいと考えている。

教育研修費について

【問】通学バス、タクシ

ー運行について要件の見直しは。

【答】28年4月から、今まで運行していなかった金田一中学校区の野々上地区、山屋地区と、御返地中学校区の山田地区を対象に加えている。距離要件の6キロ以上には該当せず、統合条件でもない地区であるが、公共交通機関がなく、外灯や民家

【問】家庭での食生活の調査をしているのか。

【答】市内の幼稚園、保育所、児童館の3歳以上の子どもとその保護者、高校生を対象に実施している。また、減塩に関しては、教室の参加者や家庭訪問による実態調査、食生活改善推進員による「突撃！隣のお味噌汁」調査を実施している。

不登校について

【問】実態はどうか。

【答】27年度においては小学校が5件、中学校が21件の合計26件である。近年の出現率傾向は、小学校では少し増加の傾向、中学校では近年横ばいであったが27年度は若干増えている状況にある。

子どもの肥満について

【問】現状はどうか。

【答】県や全国に比べるとかなり高い状況であり、以前から指摘されている。27年度は新たな取り組みとして、福岡小学校と福岡中学校をモデル校に、数世帯ずつの保護者と子どもに学校に来ていただき、医師との面談をして

栄養指導や家庭での食事を中心とした話し合い、運動についての指導を行っている。その結果、対象者については効果があつたと捉えている。

給食センターについて

【問】アレルギーの子どもの現状は。

【答】27年度、各学校から報告のあつた食物アレルギーを持つ子どもは小学校で39人、中学校で22人、合わせて61人である。



産業建設分科会

■一般会計決算

岩手県機構集積支援事業

【問】農地集積について中間管理事業の実施をどう捉えているか。

【答】26年度は1件0・5畝であったが、27年度は37件33畝と農地集積が進んでいる。このような傾向が続くと思うので、今後も引き続き進めていきたい。

へのフルーツの里発信事業

【問】内容について。

【答】主な内容として加工向け品種ニーズ調査、需要調査や隣県・首都圏での試食販売や展示会への参加、東京・名古屋・大阪への市場動向調査への参加、冬季団体でのフルーツカレンダーの配布やリンゴ

の提供等を行った。

【問】首都圏での戦略としてターゲットを絞って継続的に行っていく必要があるが、27年度の結果をどう活かしているか。

【答】今後も大消費圏での消費者交流、商品のPRを行う予定。商品特性を活かし販売先もターゲットを絞った提案に努める。

【問】内容について。

【答】主な内容として親子料理教室など「食育推進事業」、隣県での短角和牛の対面販売による「消費拡大事業」及び「情報発信事業」を実施した。

【問】この事業で何がプラスになったのか。

【答】岩手県は鶏肉の生産量が全国で3位でありながら、消費量は40位以下の状況である。食鶏企業は独自の製造・流通・販売システムが確立されているが、本事業を通じて横の連携が図られ、二戸市内での流通拡大や外から二戸に来て消費していただく仕組みづくりの素地が出来つつある。今後更に連携を強化し、知名度の向上と利用拡大に努めていく。



観光振興について

【問】観光ビジョンは5年後、10年後の目標値を示すべきでは。

【答】観光振興については、宿泊や旅客業のみならず、農業生産者や地元企業など幅広い意味で観光に携わる市民の方が自らの地域や人を輝かせる目標をみんなで策定することに意義がある。その積み上げが市全体の目標になると考える。

浄法寺漆について

【問】10年後の生産目標2.7トンの根拠は。

【答】日光東照宮など文化財の必要量が2トン、それに地域内消費が0・1トン、地域外消費0・1トン、需要の伸びを想定して全体で2・7トンとしている。

急傾斜地崩壊対策について

【問】注意喚起、危険箇所を認識する機会を作るなど取り組む必要があるのでは。

【答】自治防災組織との連携になると思うので、防災対策室を通じて町内会でもまとめて議論する機会を作るよう進めたい。

岩谷橋架け替え工事

【問】事業完了を平成32年度としているが、進捗状況は。

【答】用地補償は繰越も含め今年度で終了予定。工事については今年度後半に工事用道路を発注予定である。

19㍍となる。既存道路は7・8㍍である。

【問】狭くなっていく道路は危険。県に拡幅要望すべきでは。

【答】五日町、橋場方面については現在も県に対し、二戸市として整備を要望している。

水道事業会計決算

【問】漏水防止対策で有収水量が改善されるのか。

【答】平成27年度決算では74・19%で県内12番目となっており、県平均は79・78%である。漏水調査により年間約19万立方メートル程度改善した。率に換算すると80%程度となり、県平均を上回る数値となる見込みである。

【問】計画道路と既存道路の幅員は。

【答】計画道路は車道9㍍・両側歩道3・5㍍の16㍍道路で、交差点に近い部分は右折レーン3㍍が設置されるため

平成28年度一般会計補正予算

災害復旧費など8億1,043万円を増額

決算認定以外に、9月定例会で出された
主な議案の内容は次のとおりです。

条 例

● 二戸市浄法寺漆産業振興基金条例

〔原案可決〕

総合的な漆産業振興に資する事業の財源に充てるため、基金を設置しようとするものとす。

● 二戸市税条例等の一部を改正する条例

〔原案可決〕

地方税法等の一部を改正する等の法律などの公布及び施行に伴い、所要の改正をしようとするものとす。

● 二戸市児童クラブ条例の一部を改正する条例

〔原案可決〕

御返地児童クラブが御返地生活改善センターから御返地小学校内に移転することに伴い、所要の改正をしようとするものとす。

● 二戸市シビックセンター条例の一部を改正する条例

〔原案可決〕

二戸市シビックセンターの管理に指定管理者制度を導入することなどに伴い、所要の改正をしようとするものとす。

議 決

● 権利を放棄することについて

〔原案可決〕

債務者に係る学校給食費徴収金について、免責許可決定により債権を回収することができの見込みがないため、権利を放棄しようとするものとす。

● 平成27年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

〔原案可決〕

平成27年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金を処分しようとするものとす。

補正予算

● 平成28年度二戸市一般会計補正予算(第5号)

〔原案可決〕

7677万円

〔補正額〕

8月17日から31日にかけて発生した気象災害の被害を受けた道路や河川、農業用施設等の復旧に要する費用です。

● 平成28年度二戸市一般会計補正予算(第6号)

〔原案可決〕

7億3366万円

〔補正額〕

主な内容(歳出)

まちなか賑わい創出事業

345万円

浄法寺総合支所前の多目的広場や休憩所の改修にかかる工事費



保育事業委託費

4676万円

保育所運営費の前年度分の実績確定による国庫及び県負担金の返還金

生活保護扶助費

2726万円

生活保護費の前年度分の実績確定による国庫負担金の返還金

浄法寺漆産業振興基金積立金

3000万円

基金の新設に伴う積立金

漆原木確保対策事業費

954万円

市内の漆原木の調査に係る委託料

道路維持管理補修事業費

9532万円

除雪に要する委託料など

市民協働除排雪支援事業費

576万円

町内会等に貸し出す小型除雪機械の購入費など

体育施設管理費

9643万円

大平球場の改修工事費と総合スポーツセンター土地購入費

●平成28年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

▼事業勘定

【補正額】

1470万円

国保事業の広域化に向けての連携用データ作成委託料と、療養給付費の前年度分の実績確定による国庫負担金の返還金です。
▼診療施設勘定 【補正額】 △224万円
人事異動に伴う人件費の補正と診療所一般管理費です。

●平成28年度二戸市下水道事業特別会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

【補正額】

△562万円

人事異動に伴う人件費の補正、公共下水道

整備事業等の設計業務委託料と工事請負費の組み替え等による補正です。

●平成28年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

【補正額】

△13万円

人事異動に伴う人件費の補正などです。

●平成28年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

【補正額】

418万円

人事異動に伴う人件費の補正と簡易水道施設管理費の修繕料です。

●平成28年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

【補正額】

44万円

人事異動に伴う人件費の補正と、発掘調査委託料等の事業費の調整です。

●平成28年度二戸市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

【補正額】

4万円

前年度繰越金を国民健康保険特別会計診療施設勘定へ繰り出すものです。

●平成28年度二戸市水道事業会計補正予算(第1号) **《原案可決》**

▼収益的支出

【補正額】

△145万円

▼資本的支出

【補正額】

△14万円

▼職員給与費

【補正額】

△143万円

人事異動による人件費の補正などです。

人 事

●人権擁護委員候補者の推薦について **《適任》**

次の委員候補者の推薦について、適任とすることに決しました。

▼人権擁護委員

浄法寺町向田 漆田 健一 氏
浄法寺町小泉 小泉 和男 氏

議員発議

●少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 **《原案可決》**

少人数学級の推進や、義務教育費国庫負担制度の拡充を政府に求めるものです。

●安全保障関連法は発動せず、廃止することを求める意見書 **《否決》**

国に対し、安保法制を発動しないこと、安保法制は廃止して憲法9条を持つ国として、外交による平和のリーダーシップを発揮することを強く求めるものです。

●二戸市議会会議規則の一部を改正する規則 **《原案可決》**

二戸市議会基本条例第11条第1項の規定に基づき、議会改革の推進に関し協議や調整を行うための場を設けようとするものです。

主な質疑応答

●二戸市浄法寺漆産業
振興基金条例

【問】増える漆の需要に
対して、長期的にどう
いう考えで進めていく
のか。

【答】平成27年2月に国
指定文化財については
国産漆を使う方針とな
り、一気に漆の需要が
伸びた。原木や掻き子
の確保に力を入れ、足
元を固めつつ未来に向
けて地域の宝を生かす
取り組みを進めていく。

●二戸市税条例等の一
部を改正する条例

【問】条例改正による二
戸市財政への影響は。

【答】法人市民税、法
人税割関係は27年度
実績による試算で
1600万円の税収
減を見込んでいる。軽

自動車税関係、環境性

【答】27年度新規登
録台数による試算で
1200万円の税収増
を見込んでいる。これ
らは消費税率10%に引
き上げられた場合に適
用されるもの。

●平成28年度二戸市一般
会計補正予算(第6号)

【問】介護ロボット等導入支援
特別事業

【答】介護ロボットを導
入する介護サービス事
業者に経費を助成する
もの。今回は電動アシ
スト機能付きの歩行器
会話型コミュニケーション
ロボット、入所者
の状態が分かるセンサ
ー付きマットの導入に
ついて申請が出ている。

【問】事業の内容は。

【答】介護ロボットを導
入する介護サービス事
業者に経費を助成する
もの。今回は電動アシ
スト機能付きの歩行器
会話型コミュニケーション
ロボット、入所者
の状態が分かるセンサ
ー付きマットの導入に
ついて申請が出ている。

【問】今回購入に至った
地購入について

【答】恒久的に使用する
土地は買い取りが望ま
しいが、権利や借地料
の問題もある。今回地
権者からの要望もあり、
財源調整もついたので
提案に至った。今後も
財源調整をしながら順
次買い取りを進める。

【問】今回購入に至った
地購入について

【答】恒久的に使用する
土地は買い取りが望ま
しいが、権利や借地料
の問題もある。今回地
権者からの要望もあり、
財源調整もついたので
提案に至った。今後も
財源調整をしながら順
次買い取りを進める。

【問】今回購入に至った
地購入について

【答】恒久的に使用する
土地は買い取りが望ま
しいが、権利や借地料
の問題もある。今回地
権者からの要望もあり、
財源調整もついたので
提案に至った。今後も
財源調整をしながら順
次買い取りを進める。

総務常任委員会

●二戸市税条例等の一
部を改正する条例

【問】期間が平成30年度
から34年度に限られて
いるのはなぜか。

【答】一定の期間を控除
の対象とすることによ
って自己管理を進めて
いただく、直接病院等
の診療を受けなくても
自分で健康管理が出来
るよう誘導するために
限定されている。平成
29年1月1日以降購入
分から対象となる。

【問】環境性能割の課税
の時期は。

【答】平成29年4月1日
以降に取得、購入した
ものが対象となる。取
得の際に申告納付して
いただき、それ以降に
購入した時点で納付し
ていただく。
国政における消費税
の増税が遅れることに
よって、併せて法人税
割の税率と軽自動車税
関係は延期が予定され
ている。

【問】金額確定の状況は。

【答】前年度の交付税は
58億9240万5千円。

●一般会計補正予算(第
6号)

【問】環境性能割の課税
の時期は。

【答】平成29年4月1日
以降に取得、購入した
ものが対象となる。取
得の際に申告納付して
いただき、それ以降に
購入した時点で納付し
ていただく。
国政における消費税
の増税が遅れることに
よって、併せて法人税
割の税率と軽自動車税
関係は延期が予定され
ている。

【問】金額確定の状況は。

【答】前年度の交付税は
58億9240万5千円。

【問】金額確定の状況は。

【答】前年度の交付税は
58億9240万5千円。

●一般会計補正予算(第
6号)

【問】環境性能割の課税
の時期は。

【答】平成29年4月1日
以降に取得、購入した
ものが対象となる。取
得の際に申告納付して
いただき、それ以降に
購入した時点で納付し
ていただく。
国政における消費税
の増税が遅れることに
よって、併せて法人税
割の税率と軽自動車税
関係は延期が予定され
ている。

【問】金額確定の状況は。

【答】前年度の交付税は
58億9240万5千円。

【問】金額確定の状況は。

【答】前年度の交付税は
58億9240万5千円。

レシートや領収書は
保管しましょう



文教福祉常任委員会

●二戸市児童クラブ条例の一部を改正する条例

【問】面積の拡大によって利用者数の増加に対応できるのか。

【答】御返地小学校の施設内に整備されたことに伴い、面積も拡大され、定員も17名から30名となった。現在の在籍は7名であるが、希望する児童にはほぼ対応できる状態になった。

●二戸市シビックセンター条例の一部を改正する条例

【問】指定管理を導入するメリットは何か。

【答】平成11年9月のオープン以来16年が経過し、利用者の減少が続いており、その対策が

必要となつている。民間の柔軟な発想による企画力や、施設利用者へのサービスの向上

経費の節減に結び付けていきたいという考えから、29年度からは、施設管理についても指定管理者へ移行することを検討している。



●一般会計補正予算（第6号）

子育て支援センターについて

【問】駐車場整備の内容は。

【答】新しい施設の利用者が大幅に増加してお

り、利用者の利便性を図るため駐車場の確保が必要となったことから、施設に隣接する土地を借り上げて駐車場を整備するもの。収容台数は、現在の駐車場と合わせて34台分を確保できる見込みとなる。

予防接種事業

【問】B型肝炎定期接種化について。

【答】平成28年10月1日から定期予防接種の対象疾病に追加される。対象者は、平成28年4月1日以後に生まれた0歳児で、一定の間隔を置いて3回接種する。28年度は延べ362人、実人数146人が接種する見込みである。

産業建設常任委員会

●一般会計補正予算（第6号）

中山間地域等直接支払交付金について

【問】補正の理由は。

【答】今年度に入り、対象面積を増やした集落や新規参加集落があったことによる増、現地調査で精査したところ基準に合わないなどの理由による減などである。



【問】予算編成にあたって、予算化後の現地調査ではなく事前調査をすればいいのでは。

【答】冬場に座談会を開き、集落からの要望を聞いたうえで当初予算を編成しているが、現地測量は雪解け後の実施となるため、差が生じる場合がある。座談会の際には、現地確認をしなければ確定しないという説明を事前に行っている。

除雪委託料について

【問】昨年度と大きく変わる点は。

【答】大きくは変わらないうが、浄法寺バイパスの開通により県道二戸五日市線が市道となつ

たため、除雪路線が増える。



●土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）

【問】28年度の補償予定箇所は。

【答】前小路、枋ノ木北晴山、川原地区で建物物件移転10件、借家人補償1件、仮住居補償1件を予定している。

討論

平成28年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

反対 田口一男議員

国保の都道府県化は国保医療費削減のため。市町村の法定外繰り入れの努力を無視し、都道府県の統一保険料率に踏み込むことにもなり、弊害は明らかである。

平成27年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について

反対 畠中泰子議員

石切所保育所廃止やD・Oジャパン補助金返還金は問題であり、北部広域環境組合問題の適切な総括がなされていない。介護や子どもの貧困等に対応する取り組みが不十分。

賛成 内沢真申議員

単年度収支はここ数年黒字で、財政状況を示す指数も改善傾向であることは大いに評価すべき点であり、効率的な事業執行に務めた結果と思う。

賛成 及川正信議員

個々の問題については問題

反対します！
賛成します！

なしとは言えないが、総じて執行の姿勢や努力を見て認定すべきと考える。今後は更なる財政の厳しさを胸に押さえて対応してほしい。

平成27年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

反対 畠中泰子議員

市は一般会計から繰り入れるところから6年間全く繰り入れず、基金も残し市民に過大な国保税を負担させる不誠実なやり方。国保世帯の窮状に向き合い税の引き下げを。

賛成 小笠原清晃議員

本来国保は国保会計の中で運営するもの。今回の国保会計は、市民に寄り添った健康保険事業の活用や国保税の収納など、様々な努力の積み重ねが表れている。

賛成 及川正信議員

国保運営は制度そのものが変わらなければ、いくら議論しても解決しない。苦しい財政状況の中でやりくりしてきたい点は評価したい。

平成27年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

反対 畠中泰子議員

滞納を理由に有効期限が短い短期被保険者証を交付するという、高齢者への敬意を払わない行政の対応は認められない。

安全保障関連法は発動せず、廃止することを求める意見書

賛成 及川正信議員

孫や子供のために今我々はどうすべきか真剣に考えなければならず、生きている限り戦争に反対したい。戦争をしない努力をしなければならぬという信念から賛成とする。

賛成 岩崎敬郎議員

憲法解釈を拡大してこの安全保障関連法を成立させたことは納得がいかない。国民が総力を挙げて解決していかねればならない問題であり、国に大きな期待を寄せろ。

賛成 鈴木忠幸議員

多くの憲法学者が憲法違反だという中で成立した法律。他国の紛争解決のために日本人の命を差し出すようなことは決して許すことができない。

請願・陳情のしかた

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

【請願と陳情のちがい】

- 請願は、紹介議員の署名または記名・押印が必要です。
- 陳情は、紹介議員を必要としません。

【請願・陳情の取扱い】

- 請願及び市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
- 市外の方からの陳情は、市議会より議員に配付します。

【記載していただく事項】

- ①提出年月日
- ②提出者の住所・氏名（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）・押印
- ③請願・陳情の要旨、理由
- ④請願の場合は、紹介議員1人以上の署名または記名・押印

一般質問のラジオ放送

定例会の一般質問は、カシオペアFMで録音放送しています（定例会期間中と定例会終了後に1回ずつ放送）。

詳しい放送日程は、議会事務局またはカシオペアFMにお問い合わせください。

【問い合わせ先】

議会事務局 TEL 23-3111
カシオペアFM TEL 23-8779

周波数 77.9 MHz

【審議結果】

議案番号等	議案名等	審議結果
議案第1号	二戸市浄法寺漆産業振興基金条例	可決（全員賛成）
議案第2号	二戸市税条例等の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第3号	二戸市児童クラブ条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第4号	二戸市シビックセンター条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第5号	権利を放棄することについて	可決（全員賛成）
議案第6号	平成27年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決（全員賛成）
議案第7号	平成28年度二戸市一般会計補正予算（第6号）	可決（全員賛成）
議案第8号	平成28年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（賛成多数）
議案第9号	平成28年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第10号	平成28年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第11号	平成28年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第12号	平成28年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第13号	平成28年度二戸市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第14号	平成28年度二戸市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第15号	平成28年度二戸市一般会計補正予算（第5号）	可決（全員賛成）
認定第1号	平成27年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第2号	平成27年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第3号	平成27年度二戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
認定第4号	平成27年度二戸市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
認定第5号	平成27年度二戸市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
認定第6号	平成27年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第7号	平成27年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
認定第8号	平成27年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
認定第9号	平成27年度二戸市水道事業会計決算の認定について	認定（全員賛成）
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
報告第1号	二戸市一般会計継続費の精算報告について	報告
報告第2号	平成27年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について	報告
報告第3号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について	報告
発議第1号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	可決（全員賛成）
発議第2号	安全保障関連法は発動せず、廃止することを求める意見書	否決（賛成少数）
発議第3号	二戸市議会会議規則の一部を改正する規則	可決（全員賛成）

【賛否の公表】採決で賛否が分かれた案件の結果です。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
議員名	駒木昇	清水正敏	内沢真申	米田誠	三浦利章	田口一男	菅原恒雄	田村隆博	國分敏彦	小笠原清晃	新畑鉄男	畠中泰子	田中勝二	田代博之	岩崎敬郎	田口一	及川正信	鈴木忠幸
議案第8号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認定第8号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議第2号	×	×	×	×	—	○	議	×	×	—	—	○	—	×	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「—」は退席

質問項目

1. 稲庭高原パークゴルフ場利用向上について
2. 二戸市役所石切所出張所駐車場について



稲庭の自然を満喫しながらプレーできる
稲庭高原パークゴルフ場



駒木昇議員

稲庭高原パークゴルフ場の更なる利用向上は
健康増進、スポーツ振興の観点から取り組みを強化する

問 健康増進の視点などからもパークゴルフ場の利用向上を図るべきではないか。

答 市長 ロコモティブシンドローム予防事業や公民館事業、岩手県年金受給者協会など関係団体等と連携しながら、日頃の

運動不足の解消や医療費の抑制、リハビリの効果に繋がるなど、健康増進に利用されている。平成25年7月にオープンした稲庭高原パークゴルフ場の27年度の利用者は8434人で、個人・団体とも年々増加している状況である。

問 関心を高める取り組みやPRについての考えは。

答 市長 地元小学校の学年PTAや子ども会育成会などのレクリエーション事業、誘致企業や福祉施設の親睦など、広くPRして関心を高めてま

問 石切所出張所の駐車場は狭く、特に雪が積もる冬期間は転回させるのが困難。改善すべきでは。

答 市長 現在出張所においての方も、公民館の駐車場を利用されている状況である。公民館の「公民

いりたい。また、高原の爽やかさを感じながらプレーを楽しめるゴルフ場として県内外に宣伝するとともに、二戸パークゴルフ協会の皆様と連携強化を図りながら健康増進やスポーツ振興への取り組みを強化していきたい。

石切所出張所駐車場の改善策は
地域との協議などを通じ利用しやすい施設を目指す

問 石切所出張所の駐車場は狭く、特に雪が積もる冬期間は転回させるのが困難。改善すべきでは。

答 市長 現在出張所においての方

問 出張所を移転させる考えは。

答 市長 当該施設等のあるエリアは、市道柵ノ木線と



周囲に公民館や郵便局が立ち並ぶ石切所出張所

館来館者以外駐車禁止」の看板は、撤去を含め利用しやすいように対応してまいりたい。

もに28年度から重点整備地区に含まれ、37年度までに整備する計画である。
特に郵便局、出張所公民館周辺は小学校の通学路もあり、区画道路整備や造成工事が始まることから、これらの施設の移転は必要とな



循環バス（にこにこ号）



内沢真申議員

質問項目

1. 今後の公共交通体系について
2. 今後の地域エネルギー政策について

公共交通体系構築の方向性は

スクールバス混乗化などテスト運行を通じて検討

問 今後はさらに暮らしの足を確保してほしいというニーズは高まると予測するが、公共交通体系の構築の方向性は。

答 市長 利用者の減少、採算面などから路線の廃止や減便を行うことは、足の

確保という観点から避けなければならぬと考えている。既存の路線バスやコミュニティバス、タクシ、スクールバスの混乗化についてもテスト運行により利用者の意見や要望をお聞きしながら、今後の交通体系のあり方について検討を進める。

問 従来の定時定路線型のバス交通では限界を超えてしまった小規模需要に対してはどのような対応が。

答 市長 デマンド型の交通手段はバスが無い地域におい

て有効であると考えますが、タクシー業者と競合する部分が多くなることから、経営を圧迫しないよう既存のタクシーを活用する形態など、今後も関係者の方々とお話をさせていただきながら、慎重に進めていく。

再生可能エネルギーの利用促進は

風力発電機を最大60基設置予定

問 新エネルギー導入、再生可能エネルギー利用促進に対する取り組みの見通しは。

答 市長 県北地域水素エネルギー利活用等研究会などを活用しながら、水素エネルギーの利活用につ

いて検討する。環境負荷の低減のみならず、地域経済の活性化などへの取り組みも本年度策定するエネルギービジョンに盛り込む。再生可能エネルギーについては5つの風力発電事業計画が事業者より示され、折爪岳、稲庭岳、筍平の3地区に風



稲庭高原風力発電所（岩手県企業局）

力発電機を最大60基設置予定である。

問 市民生活に身近なところからの意識啓発の必要性は。

答 市長 エネルギー経費として地

域外に流出している価値を地域内の消費に転換するためにも、高気密な住宅建築を誘導することが有効である。省エネルギー住宅のあり方について検討を進めており、市民の皆様意識啓発も行いたい。

1. 多岐に渡る防災に見合う迅速な対応について
2. 国民健康保険と保健事業について



大雨で増水した馬淵川（平成 28 年 8 月）



田口一男議員

迅速な対応で防災を 災害予知情報と水害対応を強化する

問 平成25年9月の洪水後の県の対応を市で把握は。

は。現状と迅速な避難対応の情報は万全か。

流する仕組みではなく、自然に流出する仕組みとなっている。

答 市長 県では平成26年9月から住民説明会を4回実施し、馬淵川上流圏域河川整備計画を平成27年11月に策定した。

答 市長 八幡平市のダム管理者がダム水の越流時の河川状況を地元へ情報提供しているが、今後は二戸市へも提供してもらうよう改めていただきたい。ちなみに八幡平市の荒沢防災ダムは、大雨時に貯水した水を放

問 大雨洪水の常習被災地帯の住民への安比川改修工事の進捗情報の提供や、工事の早期完成について県河川課に働きかけられるべきだ。

答 市長 整備について地元の説明会を開催し、情報提供のほかに門崎、下藤地区と八幡館地区については早期に事業着手するよう岩手県に要望活動を継続し取り組む。

問 二戸地域の河川警報伝達の改善

答 市長 整備について地元の説明会を開催し、情報提供のほかに門崎、下藤地区と八幡館地区については早期に事業着手するよう岩手県に要望活動を継続し取り組む。

問 水害に対応する機材の整備状況や過去の災害の検証と新たな対応は。消防団員が不在の火災や災害の際の機別団員の新設の考えは。

答 市長 先進事例を参考にし、二戸市の現状と課題に照らして、健康づくり推進協議会や医師会等関係者と協議しながら、

答 市長 災害時の対応強化のため発電機、救命胴衣、デジタル簡易無線、トランシーバーなどの配備を行い、昨日も大雨台風災害での河川警戒等で情報交換の迅速化に役立っており、今年度も配備予定。水防用資

材は市内3カ所の水防倉庫へ配置し早期対応に配慮している。150人規模となる防災士の活動活性化に向けた支援も検討する。

機別団員の新設は基本団員確保を優先し消防団と協議しながら今後検討する。

健診受診率向上対策は

健康マイレージ制度の検討をする

問 受診率等の向上のため、健康マイレージ制度の取り組みについて伺う。

答 市長 先進事例を参考にし、二戸市の現状と課題に照らして、健康づくり推進協議会や医師会等関係者と協議しながら、

問 平成30年から国民健康保険の都道府県化に向けた取り組みが始まるが、内容とリスクなど検証されているのか。また自治体独自の単独事業が規制されるのか。

答 市長 県では、国保事業の運営方針と国保事業費納付金のワーキンググループを設置し、市町村と検討を始めた。県にデータを提出し、国保事業費納付金や標準保険料等の仮算定を行い各市町村に大まかな提示がされる予定。その結果を踏まえ検討する。



市町で決定した健康づくりメニューを行なった住民が特典を受けられる健康マイレージ制度（上記は静岡県例）



本会議の様子は市役所等で視聴可能



及川正信議員

質問項目

1. 市民に届ける議会中継について
2. 二戸市観光ビジョンについて

本会議の実況を市民に届けるインターネット中継を

議会から要望があれば、実現の方向で進める

問 本会議の全てをインターネットによる動画の生放送で議会中継すべきと考え

るが、市長の見解は。

答 市長 本会議開催中は、市役所1階市民ホール及び浄法寺総合支所1階市民ホールで会議の様子を放送しているほか、後日の放送となるが一般質問の様子はカシオへAFMで放送している。また議会だよりの発行

やホームページの活用などにより、開かれた議会について取り組んでいる状況である。しかしながら質問者も言われるとおり、他市等ではインターネットやケーブルテレビ等で中継されてきている状況でもあり、議会と相談し、要望があれば実現の方向で進めたい。時期的には新年度予算にこだわることなく補正でもいいと思う。

二戸市観光ビジョンが指し示す交流人口増の具体的政策は

地域全体のブランド化を図って外貨や交流人口を増大させたい

問 二戸市観光ビジョンとして、自然景観づくり政策はないのか。

答 市長 二戸市観光ビジョンとして、単なる観光振興だけの計画ではなく、地域資源や文化、習慣、風土、環境など地域にあるものの魅力を輝かせ発信することで地域全体のブランド化を図り、外貨や交流人口の増大を目指す方針である。九戸城周辺、金田一温泉、天台寺周辺の3地区をモデルに地域課題を解決し、稼ぐ地域づくりに向けて議論を重ね、体制づく

りを進めてまいりたい。観光地づくりは行政主導でなく、地域住民や企業や団体の皆さんを主体とした官民一体が推進母体となり進めるのが基本と考えている。

問 中長期展望はビジョンの中に見えてこない。展望を示すべきではないか。

答 市長 市民や企業の声を反映させ、第2次総合計画の二戸市まち・ひと・しごと創生戦略と関連させ30年後のあるべき姿を描いたものである。外貨や交流人口増を狙うためであり、若者の



28年3月に策定した「二戸市観光ビジョン」

発想と行動力で二戸市全体の付加価値の拡大を図る。若者が一歩踏み出す取り組みを中長期的に実践することで、観光のみならず地域間経済の好循環を生むと考えている。

問 観光は広域化を必要とする。これに対する市長の見解と広域観光への手順を伺う。

答 市長 旅の目的として選んでいただくにはお客様視点でストーリー性を持った提案が必要であり、当地域でしか得られない体験など差別化された商品づくりが求められている。また、近年外国人観光客が急増し新たなコース設定など広域的観光が必要となっている。周辺市町村の観光協会、企業、団体等とも連携し、広域観光の魅力化に努める。



みんなの一票大切に!

明るい選挙キャラクター
「選挙のめいすいくん」

質問項目



畠中泰子議員

投票所に行きたくても行けない障がいを持つ人や高齢者の参政権の保障を
実施可能なものから取り組み、投票機会の保障を図る改善を進めたい

問 参政権は国民主
権の根幹。参政
権行使を保障する投票
機会の保障を図る投票
環境の改善を。

答 **市長** 昨年度よ
り新たに期日前
投票所を二コア内に
設置。今回の参院選
の期日前投票者総数
6437人の内、51%
の3286人が二コア
の期日前投票所を利用
した。選挙人の利便性
を考慮し、投票所のバ
リアフリー化等、実施
可能なものから取り組
み、投票機会の保障を
図る改善を進める。

問 「子どもたちを
戦場に送るな」
という当然の主張を政
治的中立性を逸脱した
例として教師や子ども
に監視や密告を奨励す
る自民党の実態調査は
主権者教育、政治教育
に対する重大な干渉、
攻撃ではないか。

答 **教育長** 自民党
が一政党として
ホームページ上で行っ
た調査。市の教育長の
立場としての所見を述
べることは控えたい。
主権者として社会の
中で自立し、他社と連
携・協働しながら社会
を生き抜く力や地域の
課題解決を主体的に担
う力を育む主権者教育
を子どもの発達段階に
応じ、進めていきたい。

**実効性のある子どもの貧困対策を
入学前に就学援助の新入学児童生徒
学用品費を支給する検討をしたい**

問 子どもの貧困対
策の取り組みは、
学校給食無料化や就学
援助の拡充を。

答 **市長** 要保護児
童対策地域協
会等で子どもたちの経
済状況や生活環境等を
把握し、必要な支援を
する体制となっている。
「子ども第一」で総合的
支援を講ずる。

答 **教育長** 学校給
食を無料化する
とした場合、毎年多額
の費用となり、極めて
難しいと考える。

答 **市長** 高年齢者や
児童生徒の移動
の足の確保は大きな課
題。他の自治体の例も

に支給する自治体も出
ており、当市も検討し
たい。

**スクールバス運行の拡充を
旧仁左平中学校学区のスクールバスに関して
学校を通してPTAの意見を聴取している**

問 村松 奥山、上里、
金田 一上平等
どこに住んでいても医
療機関等に通えるよう
デマンド方式のタクシ
ー等の運行を。

答 **市長** 高年齢者や
児童生徒の移動
の足の確保は大きな課
題。他の自治体の例も

参考にし、福祉、医療
教育、商工など幅広い
分野からも意見を聞き、
よりよい交通体系を検
討する。

答 **教育長** 統合に
あたりスクール
バスの運行について協
定を締結し運行してき
たが、通学路の安全に
不安のある地区の小学
生の乗車を認め、対象
者を拡大し運行してい
る。学校を通してPT
Aからスクールバスに
関する意見を聴取して
おり、学校統合した地
域の生徒に対する配慮
は今後も継続して行っ
ていきたい。



旧仁左平中学校区内の一部の地区の
小中学生が乗車しているスクールバス

1. 参政権行使を保障する対策と主権者教育の積極的取り組みを
2. 交通弱者対策と通学の安全対策としてのスクールバス運行の拡充
3. 子どもの貧困対策の実効性のある取り組みを

視察レポート

議会運営 委員会

議会運営委員会では、「議会改革の推進について」を共通の調査事項とし、議会改革の先進地である3市を視察。議会運営及び議会改革の進め方について調査しました。

【視察月日】 8月2日（火）～8月4日（木）

【視察先】 三重県亀山市、岐阜県高山市、愛知県岩倉市

【視察者】 田中勝二委員長、田村隆博副委員長、
三浦利章委員、小笠原清晃委員、田口一男委員、
内沢真申委員、菅原恒雄議長

◆三重県亀山市議会

改革の内容をまとめた「議会改革白書」の作成や、ケーブルテレビ等で放送する議会報告番組の制作などを行っている。各常任委員会では毎年テーマを決めて調査等を実施し、市長へ提言。その内容が次年度予算に反映されるという一連の流れができています。

◆岐阜県高山市議会

政策提言は議員全員による政策討論会により合意形成を図っている。議会だよりは、議会として何を市民に伝えるかを判断し掲載内容を決定。市民との意見交換会は、地域別、分野別に開催している。



岩倉市議会の議場にて

◆愛知県岩倉市議会

条例の目的が達成されているか否かを年に1回以上検証し、検証結果は議会だよりとホームページで公表している。議会報告会と意見交換会は「ふれあいトーク」と称し、議員全員の参加のもと開催。また、議会傍聴のための一切の手続きを不要とした。

視察を終えて・・・

我々議員のオーナーは市民。活動に関心を持ってもらえるよう、また、必要だと思ってもらえるよう研鑽を積みなければならない。そのために、議会のあり方を今一度議員全員で考え、より良い議会運営を目指すべきと、委員全員で思いをひとつにした視察であった。

平成27年度 行政視察受け入れ状況

二戸市議会では、他県や他市町村の議会関係者の行政視察を受け入れています。平成27年度は下記の5団体の皆様が来訪し、二戸市の特色ある事業や取り組みについて視察されました。

来訪日	団体名	人数	視察項目
7月1日	兵庫県小野市議会 様	9人	にのへブランド海外発信事業について
7月9日	東京都練馬区議会 様	6人	にのへブランド海外発信事業について
8月5日	福井県大野市議会 様	2人	葉たばこの生産振興について
10月6日	新潟県村上市議会 様	8人	にのへブランド海外発信事業について
11月14日	岩手県陸前高田市議会 様	7人	埋蔵文化財センター、史跡九戸城跡について

議員全員で、議会改革に取り組みます

二戸市議会ではこのたび、議会改革の更なる推進を図るため、「二戸市議会議会改革推進協議会」を立ち上げました。

これまでの歩み

二戸市議会では、平成26年6月に「二戸市議会基本条例」を制定し、二戸市議会議員として自らの立場を再検証し、一層住民の負託に応えるための議会体制づくりを進めてきました。

制定から2年が経過。今一度、議会のあり方を検証する必要があるとして、平成28年6月定例会終

了後、菅原議長から議会運営委員会に「議会改革の推進に関する調査・検討」を依頼しました。

これを受けて、議会運営委員会は議会改革の先進地への視察など2カ月間にわたって調査・検討を進め、8月30日に「議会改革の推進に関する調査検討報告書」を議長に提出。「課題の検討には議員全員で考え課題解決をする必要があること」「議会改革を進めるための組織を早急に立ち上げること」などの提言がなされました。



田中勝二議会運営委員長（左）より菅原恒雄議長へ「調査検討報告書」が手渡されました

議会改革推進協議会を設置

9月15日に開催した議員全員協議会では、全議員で構成される「二戸市議会議会改革推進協議会」を立ち上げる方向で一致。9月定例会最終日の9月20日に新しい組織の設置を発議し、可決しました。

議会改革推進協議会の会長には新畑鉄男議員が、副会長には田中勝二議員が選出されました。

今後、協議会での検討を議会運営に反映させ、より市民に身近で開かれた二戸市議会となるよう、議員一丸となって取り組んでいきます。

◎議会活動の報告（8月から10月）

8月2日～8月4日

議会運営委員会管外行政視察

8月9日

閉会中の議会運営委員会

8月22日

会派代表者会議

閉会中の文教福祉常任委員会

二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会総会

8月23日

閉会中の総務常任委員会

8月24日

閉会中の産業建設常任委員会

8月25日

議会運営委員会

8月29日～9月20日

平成28年第3回定例会

9月6日

議員全員協議会

9月15日

議員全員協議会

10月4日

議会だより編集委員会

10月13日

二戸市議会議会改革推進協議会

10月14日

カシオペア連邦議会議員協議会研修会・交流会

10月19日～21日

産業建設常任委員会管外視察

10月25日

議会だより編集委員会

10月31日

議会改革検討委員会



ようこそ！ 二戸市議会へ

8月23日、福岡中学校2年生の生徒6人が市役所の庁舎見学とあわせ、議場の見学に訪れました。生徒たちは、議会のしくみや議場の設備などについて話す職員の説明に、熱心に耳を傾けていました。

市議会会議録を

公開しています

会議録は、定例会、臨時会での本会議のすべての内容を記録・製本して、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館及び浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。

また、平成18年以降の定例会、臨時会の会議録は市のホームページで閲覧・検索できます。



キーワード入力による検索や、質問者・答弁者の2段表示もできます

▼市ホームページ「二戸市議会」から「会議録検索システム」へ▲

議会を傍聴

してみませんか

本会議は、受付簿に住所と名前を記入するだけで傍聴できます。車椅子をご利用の方も傍聴が可能です。介助が必要な場合は、事務局職員へお声がけください。

市役所と浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることが出来ます。

※9月定例会の傍聴者は

13人（延べ人数）でした。

12月定例会を 開催します

今回の定例会は、12月8日（木）に開会の予定です。

詳しい日程につきましては、「二戸市議会」ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

46年ぶりの岩手国体も無事終了いたしました。大会の運営に携わりました皆様、そして大会を支えていただきました多くの市民の皆様、大変お疲れ様でした。

さて、先の9月定例会において、議会改革推進協議会が発足いたしました。時代に即した議会を目指し、様々な議会改革に着手しようとするものです。今、議会に求められているものは何か、どのような改革が必要なのかをこれから協議していくこととなります。市民の皆様からのご意見等お寄せいただければ幸いです。

（三浦 利章 記）

議会だより編集委員会

- 委員長 内沢 真申
- 副委員長 清水 正敏
- 委員 駒木 昇
- 委員 三浦 利章
- 委員 畠中 泰子

市議会のホームページアドレス
市議会のメールアドレス

http://www.city.ninohe.lg.jp/forms/menutop/menutop.aspx?menu_id=21gikai@city.ninohe.iwate.jp